

次期志木市長選挙の出馬表明について

本日（3月11日）、香川武文志木市長（52歳）は、午前中に行われた令和7年志木市議会3月定例会の鈴木潔議員による施政方針に対する質問において、次期市長選（令和7年6月30日任期満了）に再選をめざして出馬を表明しました。

【鈴木議員の質問の要旨（抜粋）】

この4年間で振り返りますと、コロナ対策のほか、都市基盤の整備、高齢者支援、子育て支援、まちのにぎわいづくり、防災対策と多くの分野での施策が強化された一方で、課題も残っています。例えば、人口減少と少子高齢化への対応、公共交通の維持、そして、市民会館と市民体育館の複合施設は、設備業者などの人手不足により、残念ながら建設工事が進められていない状況です。また、小中一貫教育もこれからが本格的な始動となります。

このように、まだまだ解決すべき大きな課題があるからこそ、しっかりと市のかじ取り役であるリーダーがいなければならないと痛感しているところであります。

施政方針で掲げた事業を推進するために令和7年度の予算編成をしたのは香川市長であり、これを遂行すべきも香川市長でなければならないと強く感じており、市政の重要政策をしっかりと最後まで責任を持って遂行してもらいたいと思っています。

市長職の重責は、ご苦労があることは十分承知しておりますが、市民の期待に応えるためにも、本年6月に執行される市長選挙には、覚悟を持ってぜひとも出馬され、引き続き志木市のかじ取りをお願いしたいと思っておりますが、香川市長のご決意をお伺いいたします。

【施政方針質問時の答弁内容（抜粋）】

令和7年度より市内全中学校区で導入する小中一貫教育や、市民会館と市民体育館の複合施設の建設、朝霞地区4市共用火葬場の整備、一層の水害対策の強化、さらには一般国道254号和光富士見バイパスや中央通停車場線の整備と、その沿道の活性化に向けた取組など、長期的な視点をもって取り組むべき、「選ばれる志木市」の実現に向けた施策につきましては、いまだ道半ばの状態であり、しっかりと責任をもって完遂することを期待されているものと受け止めているところであります。

「未来へ続くふるさと志木市」の実現に向け、志木市の持つさらなる発展の可能性を、可能性のままで終わらすことなく、市議会、市民の皆様、市職員と手を携え、引き続き、力強い確かな歩みを遂げていく。これが私に課せられた使命であり、果たすべき責任であると考えており、引き続き、かじ取り役としての使命を担わせていただくべく、不退転の決意をもって、次期市長選挙に臨んでまいりたいと存じます。

記者発表資料

令和7年3月11日

市長公室秘書課

担当者／小堀（課長）

電話番号／048-473-1116

志 木 市